

帯刀建設 株式会社

DX宣言書

2025年5月23日
帯刀建設 株式会社
代表取締役 帯刀 正之

□ 経営理念

私たちは、地域社会の継続的な成長に貢献しながら、社員一人ひとりが働きやすく、誇りとやりがいを持てる職場づくりに努め、豊かで充実した暮らしの実現を目指します

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術の活用を通じて業務の生産性を高め、働きやすい職場環境を整備します
- ◆ 社員の主体性を育む風土と技術やノウハウを次世代に継承する土台を築き、変化に柔軟に対応できる組織を目指します

□ DX戦略・施策

➤ フェーズ1(現在 ～ 2025年11月)

戦略 「DX推進の基盤づくり」

- 施策
- ・ 建設システム(3D測量等)の活用状況を把握し、未活用領域への展開と活用の定着化を推進
 - ・ DX推進への理解を深めるため、デジタル技術の活用に向けた勉強会を開催
 - ・ ペーパーレス化を進めるため、業務に適したタブレット等のICT機器を導入し、デジタル基盤を整備
 - ・ 日報作成作業の効率化と現場の状況を迅速に共有するため、ITツールを導入し日報を電子化

➤ フェーズ2(2025年12月 ～ 2027年5月)

戦略 「業務効率化の推進と、知識の体系化」

- 施策
- ・ 勤怠情報の集計作業にかかる負担を軽減し、正確かつ迅速な管理を行うため、勤怠管理システムを導入し、運用体制を整備
 - ・ リアルタイムでの原価管理を実現するITツールを導入し、迅速な経営判断と適正な収益確保を可能にする情報共有環境を整備
 - ・ 技術の伝承やノウハウの可視化に向けて、画像や動画によるナレッジ蓄積に適したITツールを導入

➤ フェーズ3(2027年6月 ～ 2028年5月)

戦略 「DX施策のさらなる強化」

- 施策
- ・ 社員からの提案を業務改善へ繋げるため、意見の収集と活用の仕組みを整備
 - ・ 社員主体となった業務改善の取り組みを活性化するため、優れた取り組みを評価する制度を導入
 - ・ これまでの取り組みの成果と課題を総括し、明らかになった課題に対する改善を進めることで、継続的な業務改善・DXを推進

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略実行の中心的役割を担います

□ DX推進目標

- ・ 有給休暇取得率 : 78%以上(～2027年3月)
- ・ 3D測量の内製化 : 100%(～2027年5月)
- ・ 紙の使用量削減率 : 2024年度比 30%(～2028年5月)